



ニュースレター

編集・発行 京都市住宅供給公社 京安心すまいセンター

[1] 新着情報

■ 京安心すまいセンターからのお知らせ

○令和4年度木造住宅の耐震診断士派遣について

今年度の受付状況（1月末現在）

木造住宅 144戸・130件

京町家（診断 140戸・110件、基本計画 23戸・23件）

※今年度の受付は終了しました。本年度も数多くの診断依頼にご協力いただきましてありがとうございました。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000119039.html>



○「京すまいの情報ひろば」について

「京のすまいをつくる団体」が京都のすまいと暮らしのさまざまな情報を発信しています。

<https://miyakoanshinsumai.com>



お役立ち情報

■ 木造住宅の耐震改修工事に活用できる制度



<https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/000061104.html>

■ 木造住宅及び京町家の耐震診断士派遣事業に要する様式



<https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000296821.html>

■ すまいの耐震化に関する技術情報（事業者向け）



http://www.kyoto-ikosha.or.jp/sumai/taishin_builder.html

[2] 本日のつばやき

先日、（一社）京都府建築士事務所協会より、木造耐震診断プログラム評価ソフト「KM耐震ソフト」の案内をいただきました。

KM耐震ソフトは（一財）日本建築防災協会発行「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」に対応したプログラム評価ソフトで、Microsoft Excel上で作動するものとなっています。建築士の職能をフルにサポートすべく、「安価・簡単操作・信頼性」をすべて満たしたプログラム評価ソフトで、日本建築防災協会の評価を取得したプログラム評価ソフトになります。

京都府建築士事務所協会では「木造耐震診断実務講習会」と併せて「KM耐震ソフト」の操作方法の講習会が開催されます。プログラム評価ソフトの導入をご検討の耐震診断士の皆さまは京都府建築士事務所協会までお問合せください。

講習会及び操作説明会の申込について

京都府建築士事務所協会

TEL 075-334-5277

<https://www.kyoto-kenchiku.com/information/whatnew/detail.php?code=1270>



京都市住宅供給公社

安心すまいセンター

MIYAKO ANSHIN SUMAI CENTER

〒600-8127

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
（河原町五条下る東側）ひと・まち交流館京都 地下1階

開館時間

午前9時45分から午後4時30分（電話受付は午前9時30分から午後5時）
※水曜日・祝日・第3火曜日及び年未年始を除く

TEL

075-744-1631
[耐震・省エネ担当]

FAX

075-744-1637

URL

<http://www.kyoto-ikosha.or.jp/sumai/index.html>

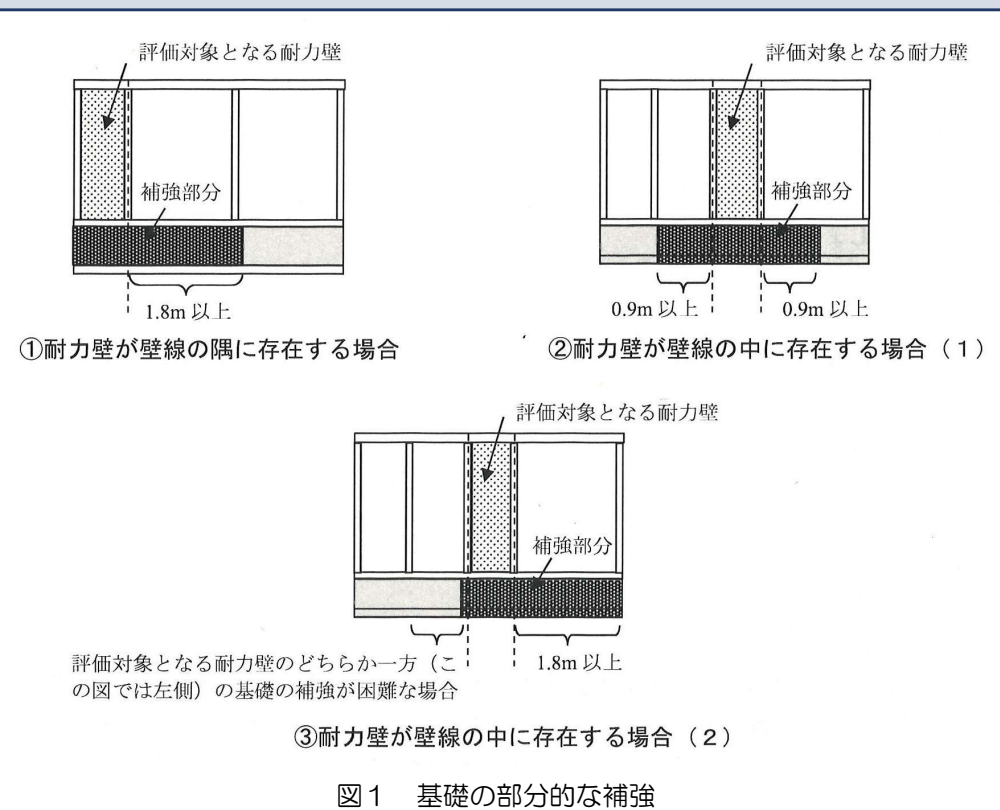
【3】よくある問題 基礎の評価及び補強についての考え方

基礎補強をする際の注意点

補強は基礎全体にわたって実施することが望ましいですが、建物の状況により、やむを得ず部分的に補強を行う場合には、下記の条件を満たす補強がされている場合のみ、基礎の健全度（表1）の評価を上げることができます。

図1①のとおり耐力壁が壁線の隅に存在する場合、壁端部の柱から1.8メートル以上の基礎が補強されている。

図1②のとおり耐力壁が壁線の中に存在する場合、壁端部の柱から両側0.9メートル以上の基礎が補強されている。



また、図1③のとおり耐力壁が壁線の中に存在する場合でも、評価対象となる耐力壁のどちらか一方（図1では左側）の基礎の補強が困難な場合、もう片方（図1では右側）の壁端部の柱から1.8メートル以上の基礎を補強する場合は、基礎の健全度の評価を上げることができます。

表1 基礎の健全度の分類

健全度の分類	仕様と健全度の説明
基礎Ⅰ	健全な鉄筋コンクリート造布基礎またはべた基礎。
基礎Ⅱ	ひび割れのある鉄筋コンクリート造の布基礎またはべた基礎、無筋コンクリート造の布基礎、柱脚に足固めを設け鉄筋コンクリート底盤に柱脚または足固め等を緊結した玉石基礎、軽微なひび割れのある無筋コンクリート造の基礎
基礎Ⅲ	玉石、石積、ブロック基礎、ひび割れのある無筋コンクリート造の基礎など。

※軽微なひび割れのある無筋コンクリート基礎とは、床下換気口隅各部に0.3mm程度以下のひび割れが発生していて、基礎全体は健全である状態をいう。

エポキシ樹脂等は基礎の補強部材として使えるの？

耐震診断の結果、基礎の評価が「基礎Ⅲ ひび割れのある無筋コンクリート造」である現状を、エポキシ樹脂等でひび割れの補修をして「基礎Ⅱ」の評価とすることができるのかと質問をいただいたことがあります。

ひび割れの原因が乾燥収縮による軽微なひび割れであれば、エポキシ樹脂等の注入による補修も考えられますが、構造的な要因のひび割れの場合はエポキシ樹脂注入した近傍のコンクリートに同じひび割れが入ります。

したがって、通常はエポキシ樹脂等の注入のみの補修では基礎Ⅱと評価することができません。

- 2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法 例題編・資料編 P123、124
- 「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の質問・回答集（2019年12月13日版）Q7.7、Q7.8、Q7a 参照（一般財団法人 日本建築防災協会/国土交通大臣指定耐震改修支援センター）